



本物力こそ桑名力

令和6年度当初予算案

新時代への扉を拓く挑戦予算

新時代への扉を拓く挑戦予算



本物力こそ桑名力

令和6年度当初予算は、**PX（パブリック・トランスフォーメーション）**に取り組み、目の前の課題に対する迅速な対応と、将来に向けて積極的に種を蒔く投資、この両輪からなる予算のもと、あらゆる世代に選ばれるまち、そして、夢のある未来にもつながる「桑名らしいまちづくり」を進める、過去最大の**新時代への扉を拓く挑戦予算**である。

総合計画の
推進

人口減少対策
パッケージ

保育現場の
充実

防災力の強化

重点プロジェクトの
推進

令和6年度当初予算の規模

◎ 一般会計当初予算の規模

令和6年度 一般会計当初予算 639.5億円

(令和5年度対比 95.8億円、17.6%の【増加】)

当初予算規模の推移

当初予算	R2	R3	R4	R5	R6
予算額	508.2億円	520.3億円	526.7億円	543.7億円	639.5億円
増減率	0.4%	2.4%	1.2%	3.2%	17.6%

～ 当初予算においては、過去最大の規模となる積極予算 ～

市税の状況(令和6年度当初予算)

◎ <歳入>市税の状況

市税収入は、前年度対比2.6億円、1.2%【減】の220.2億円

*市民税	99.7億円 (R5 104.6億円、▲4.7%)
個人	87.6億円 (R5 94.6億円、▲7.4%)
	※減税分7.0億円は地方特例交付金で措置
法人	12.1億円 (R5 10.0億円、+21.0%)
*固定資産税	96.5億円 (R5 95.1億円、+1.5%)
土地(現年)	32.0億円 (R5 31.8億円、+0.6%)
家屋(現年)	42.9億円 (R5 41.9億円、+2.4%)
償却資産(現年)	20.4億円 (R5 20.3億円、+0.5%)
*軽自動車税	3.8億円 (R5 3.6億円、+5.6%)
*市たばこ税	8.8億円 (R5 8.3億円、+6.0%)
*入湯税	0.7億円 (R5 0.5億円、+40.0%)
*都市計画税	10.8億円 (R5 10.7億円、+0.9%)

新時代への扉を拓く挑戦予算～令和6年度当初予算の重点事業～

PX（パブリック・トランスフォーメーション）の取組

総合計画（3本の柱）の推進

防災力の強化

- ・能登半島地震を受けた対応
 - ・消防本部機能高台移転
- etc

スマート自治体への転換

- ・新時代の国際化
 - ・DX・GXの推進
- etc

確固たる財政基盤の確立

- ・大山田PAのスマートインターチェンジ化
 - ・企業誘致の推進
- etc

桑名市人口減少対策パッケージ

フェーズ1

「流入促進」

- ・市内企業と取り組む移住支援
 - ・空家を活用した移住促進
- etc

フェーズ2

「定着環境整備」

- ・新婚世帯への住居支援
 - ・放課後児童対策のための支援員の充実
- etc

フェーズ3

「流出抑制等」

- ・若者のニーズにあった施策の推進
- etc

重点プロジェクトの推進

- ・多度地区小中一貫校整備
 - ・桑名駅周辺施設整備
- etc

保育現場の充実

- ・保育等人材の確保
 - ・手厚い保育士配置の実現
- etc

総合計画(3本の柱)の推進



本物力こそ桑名力

防災力の強化

14事業 18億1,747万6千円

- ・能登半島地震を受けた対応
 - ・(新規)感震ブレーカー設置補助事業費 100万円
 - ・(拡充)木造住宅耐震事業費 1,836万6千円
 - ・(拡充)備蓄用物資等拡充費 1,338万4千円 など
- ・消防本部機能高台移転(8事業合計) 15億3,857万6千円

スマート自治体への転換

13事業 4億1,146万8千円

- ・新時代の国際化
 - ・(新規)国際戦略外国人支援プラットフォーム整備事業費 921万2千円
 - ・(見直)多文化共生推進事業費 290万4千円
 - ・(見直)パブリックリレーション事業費 1,131万7千円 など
- ・DX・GXの推進
 - ・(新規)窓口業務最適化事業費 2,127万5千円
 - ・(新規)宅配再配達削減啓発事業費 270万円 など

確固たる財政基盤の確立

5事業 3億3,747万4千円

- ・大山田スマートPAのスマートインターチェンジ化
 - ・(継続)桑名北部東員線等 1億1,200万円
 - ・(新規)土地区画整理事業補助金 1億5,000万円 など
- ・企業誘致の推進
 - ・(継続)企業誘致推進事業費 4,547万4千円



《 新規 》

感震ブレーカー設置補助事業費

令和6年度当初予算額 100万円

◎地震時に発生する火災の原因…半数以上が電気が原因！？

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因を電気とする火災が多数発生している。能登半島地震においても大規模な火災が発生し、地震火災対策の重要性が改めて浮き彫りとなった。

感震ブレーカーって？
地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具のこと。

予防策も必要！！

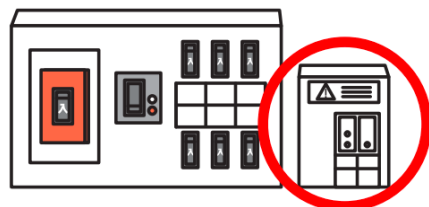
◎地震発生時の火災被害防止を

南海トラフ地震の発生が危惧される中、地震発生時に自動的に電気の供給を遮断することができる感震ブレーカーの設置を促進することで、未然に火災被害の防止を図る。

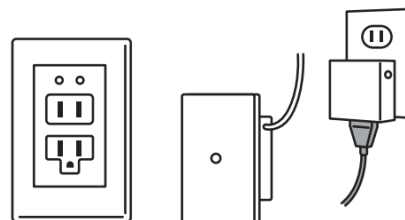
分電盤タイプ
(内蔵型)



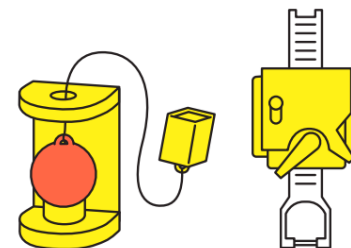
分電盤タイプ
(後付型)



コンセント
タイプ



簡易タイプ



※内閣府ホームページ参考

木造住宅耐震事業費

1,836万6千円

- 本年1月に発生した「令和6年能登半島地震」において、木造住宅の倒壊が多く見られ、市民の防災意識の高まりを想定し、旧耐震基準の木造住宅について、住宅の耐震化を推進し、地震の揺れから家屋の倒壊を防ぎ、市民の命を守るため事業を拡大する。

備蓄用物資等拡充費

1,338万4千円

- 桑名市備蓄・調達基本方針に基づき、災害時に被災者支援に必要となる備蓄用物資を計画的に整備するほか、「令和6年能登半島地震」を受け、本市が被災した際、必要と見込まれる備蓄用物資を追加で整備する。

消防庁舎等再編整備事業費 8事業合計 15億3,857万6千円

- ▶ 市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備を実施する。



「スマート自治体への転換」新時代の国際化



本物力こそ桑名力

総合計画「一世界に開かれたまちへ」

国際化戦略～外国人との共生社会～

理念

グローバル社会を実現し、持続可能なまちへ

外国人との共生社会

ステージ3

少子高齢化による人口減少が進む中、“地域経済のさらなる発展”

ステージ2

“外国人に選ばれるまち”に向けての環境整備の推進
→ 市役所内の外国人材と様々な外国人のニーズ状況を踏まえ、事業実施

ステージ1(R6年)

多文化共生社会への環境整備

①現在、市内にいる外国人
市内企業に従事

②市が呼び込みたい外国人
高度外国人材

①生活環境

- ・プラットフォーム(相談窓口等)
- ・初期日本語学習環境
- ・大山田北小「なかま」

②企業誘致

- ・高度外国人材を雇用する企業との交流
- ・英語での交流ができるプラットフォーム

外国人の力を最大限活かした施策の実施が急務

市役所内の外国人材

ステージ0(現状)

外国人住民・・・5,746人

うちベトナム1,895人、ブラジル976人、フィリピン530人※R5.12月末時点

R4年 564人 流入 R5年 **700**人超 流入見込み



⑨ 国際戦略外国人支援プラットフォーム整備事業費 921万2千円

- 6月から外国人支援プラットフォームを開設し、外国人住民が生活していく上で必要な行政サービスへアクセスできるように支援するとともに、外国人材を雇用し、外国人の立場やニーズにあう行政運営を行い、“外国人に選ばれるまち”に向けて環境整備を推進する。

多文化共生推進事業費 290万4千円

- 行政サービスの多言語対応や、外国人住民への災害時サポート事業、異文化への相互理解を深めるため外国人と日本人の交流事業を実施する。

パブリックリレーション事業費 1,131万7千円

- これまで行ってきた「桑名ブランド」のPRによって培ったノウハウを活かし、国際化、関係人口の創出、地方創生の実現を目指し、世界共通言語の英語を使う方々との関係性の構築を図る。

⑨ 窓口業務最適化事業費

2,127万5千円

- 本庁舎でライフイベントごとに関連手続きを受付する書かないワンストップ窓口を導入し、窓口業務の最適化を図り、事務処理を効率的・安定的に推進するため、民間事業者へのアウトソーシングを活用する。

⑩ 宅配再配達削減啓発事業費

270万円

- 多様化するライフスタイルに合わせた生活の利便性向上、宅配再配達削減によるCO2排出量の抑制、2024年問題に対する宅配事業者の負担軽減を図るため、家庭用宅配ボックス等を購入・設置した世帯に対し、購入費用の一部を補助する。



《 拡 充 》

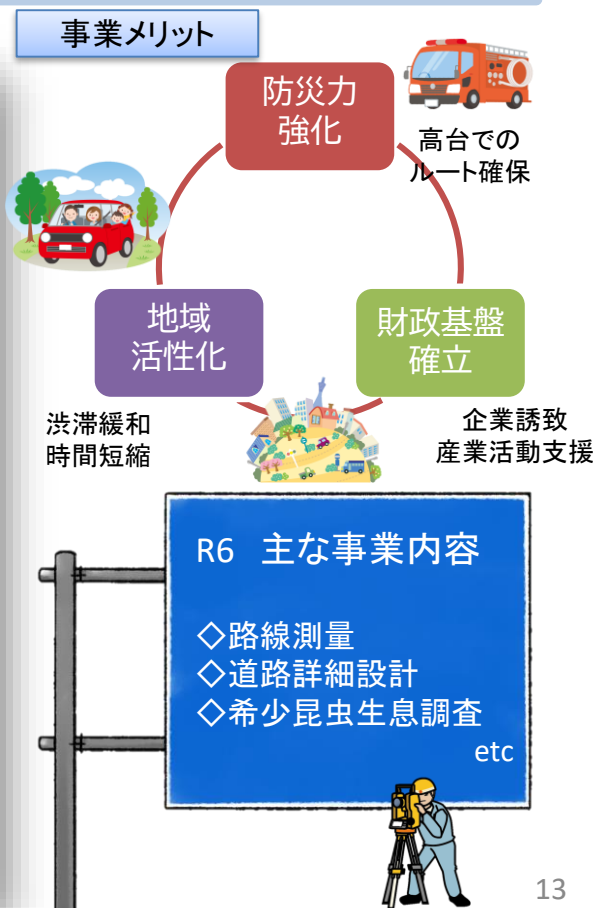
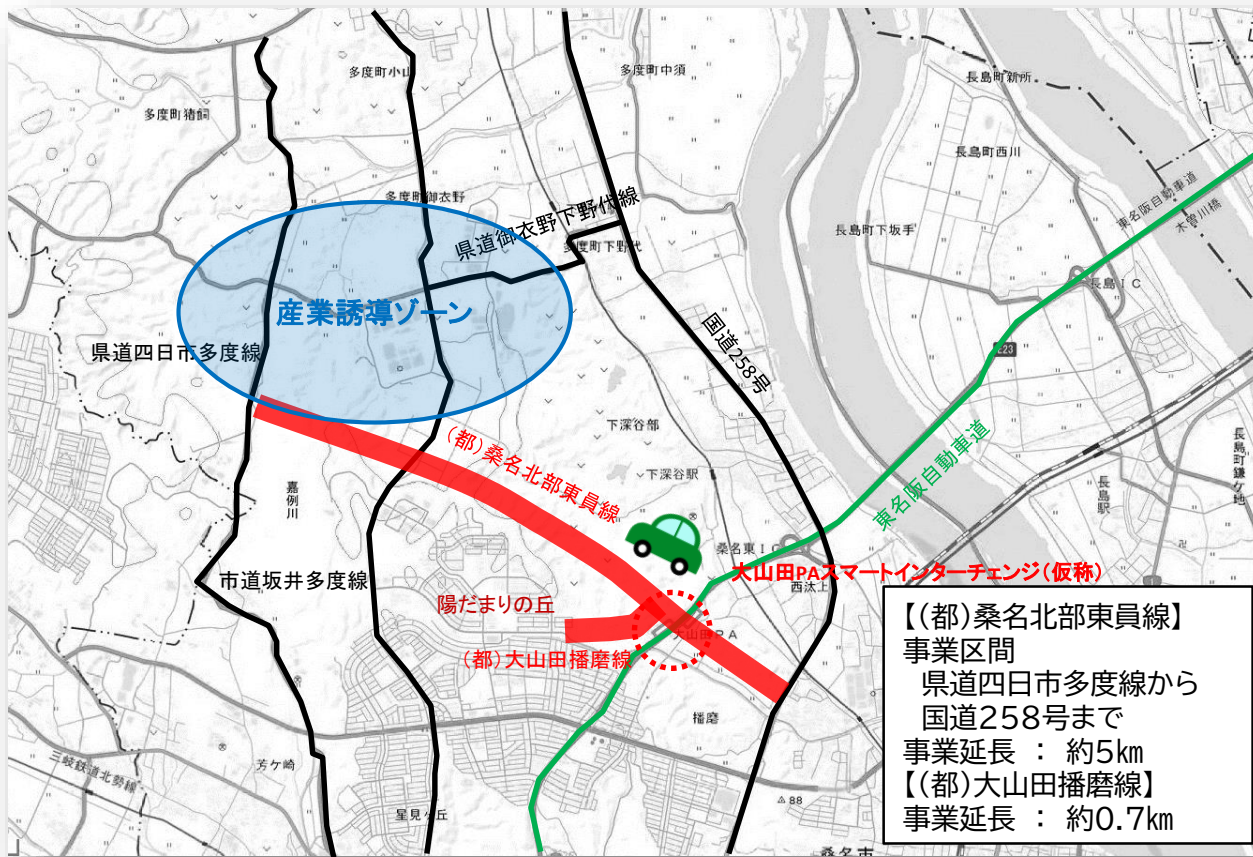
桑名北部東員線等

令和4年度 事業着手

令和5年度 整備基金10億円積立

令和6年度当初予算額 1億1200万円
(うち拡大対応分 8,880万円)

自動車交通の広域的分散、渋滞緩和や産業振興を図る重要な路線として、桑名北部東員線及び大山田播磨線を整備します。



⑨ 土地区画整理事業補助金

1億5,000万円

- 都市計画道路桑名北部東員線を施行地区に含む組合施行の土地区画整理事業に対して補助金を交付し、都市計画道路桑名北部東員線の整備促進並びに工業系企業誘致の促進を図る。

企業誘致推進事業費

4,547万4千円

- 本市の企業誘致をさらに推し進めるため、これまでの立地奨励金・定住促進奨励金の取り組みに加え、戦略的に誘致活動を進めるための経費を計上する。

桑名市人口減少対策パッケージの推進



本物力こそ桑名力

フェーズ① 流入促進

3事業

8,547万4千円

- ・市内企業と取り組む移住推進
- ・空家を活用した移住促進

2,500万円

1,500万円 など

フェーズ② 定着環境整備

9事業

3億4,910万2千円

- ・新婚生活への住居支援
- ・放課後児童対策のための支援員の充実
- ・“桑名市版”保育現場充実パッケージ

6,600万円

5,678万3千円

1億6,673万3千円 など

フェーズ③ 流出抑制 等

6事業

3,244万6千円

- ・若者のニーズに合った施策の推進

3,244万6千円 など

新規分 15事業:3億5,166万4千円 拡充分 3事業:1億1,535万8千円 合計:4億6,702万2千円

令和6年度

※令和5年度

全30事業

全14事業

予算総額

予算総額

16億8,324万6千円

13億4,495万9千円



《 新規 》

結婚新生活支援事業

令和6年度当初予算額

6,600万円

結婚に伴う新婚世帯を経済的に支援し、少子化対策の推進に資することを目的として、住宅取得費用、住宅のリフォーム費用及び住宅賃借費用並びに引越費用の一部を補助する。

対象者

前年度3月1日から当該年度3月31日までの間に婚姻届を提出し受理された夫婦

条件

- 次の①～②のいずれにも該当すること
- ① 世帯所得500万円未満
 - ② 夫婦ともに結婚日における年齢が39歳以下



補助額

- ① 夫婦ともに年齢が29歳以下の世帯 60万円
 - ② ①以外の夫婦ともに年齢が39歳以下の世帯 30万円
- ※上記の補助額に満たない場合は実費の額

フェーズ① 流入促進

人材確保支援事業

2,500万円

- 市内中小企業の人材確保を後押しするため、市内中小企業に就職し、市内に住所を有する者を雇用した事業所に対して補助金を交付する桑名商工会議所の事業を支援する。

移住促進空家等リフォーム補助金

1,500万円

- 空き家の利活用や市外から桑名市への移住を促進することを目的として、市外から桑名市内に移住し、購入した空き家をリフォームされる方に補助金を交付する。

フェーズ② 定着環境整備

放課後児童対策拡充事業

5,678万3千円

- 待機児童対策や放課後児童支援員の人材確保のため、委託先の学童保育所に対し、賃借料補助や放課後児童支援員等に対する処遇改善補助を行う。

“桑名市版” 保育現場充実パッケージ6事業

1億6,673万3千円

- ※詳細については後述にて説明。

フェーズ③ 流出抑制 等

若者施策推進ワークショップ事業

303万円

- 「生産年齢人口」の流出抑制等を図る観点から、持続可能な社会の実現に向けて若者の多様な意見を取り入れた施策の実施を目指して、若者の本当の思いや考えを引き出すワークショップ等を実施する。

宅配再配達削減啓発事業【再掲】

270万円

- 多様化するライフスタイルに合わせた生活の利便性向上、宅配再配達削減による CO2排出量の抑制、2024年問題に対する宅配事業者の負担軽減を図るため、家庭用宅配ボックス等を購入・設置した世帯に対し、購入費用の一部を補助する。

次世代デジタル人材育成事業

110万円

- DX推進下において、社会人共通に求められるデジタル基礎知識の習得を図り、今後訪れる超スマートシティに柔軟に対応できる人材を育成する。



外部人材活用事業

1,462万9千円

- 民間企業との人事交流や専門的なスキルを持った外部人材を活用することで、若者の価値観を取り入れた新しい考えや柔軟な発想による人材育成、人事制度の構築、組織改革を進め、働きやすい職場環境の整備、多様な人材の確保を行う。

若者による博物館の新たな魅力創出事業

68万9千円

- 若者の感性を十二分に活用した展覧会を開催し、新たな視点による地域資源の掘り起こしを行うとともに、本事業を通じて地域文化の理解を進め、地元への愛着を深めることを目的とする。

重点プロジェクトの推進



本物力こそ桑名力

主な重点プロジェクト

- ・スポーツ施設改修事業費 3億円
- ・多度地区小中一貫校建設事業費 53億7,500万円
- ・土地区画整備事業費 25億6,903万5千円
- ・小中学校再編計画策定事業費 1,097万3千円

など

《 新規 》

スポーツ施設改修事業費

令和6年度当初予算額 3億円

- 総合運動公園サッカー場メイングラウンド人工芝について、利用者の安全を確保するための修繕を行う。

平成26年に開設した総合運動公園サッカー場メイングラウンド人工芝の劣化が進んでいるため、耐用年数が長く、サッカーだけでなくラグビーにも対応可能な人工芝に張り替えることで利用者の安全を確保し、さらなる利便性と集客力の向上を図ります。



張り替え後(イメージ)

重点プロジェクトの推進



多度地区小中一貫校建設事業費

53億7,500万円

- 多度地区における小中一貫校整備について、設計施工一括発注方式による事業者ノウハウを活かし、本年度は設計・工事・工事監理を行う。

土地区画整備事業費

25億6,903万5千円

- 桑名駅西側地域において、木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域となっているため、道路や駅前広場、下水道等のインフラを整備し、駅西口への円滑なアクセスと住環境の改善を図る。

小中学校再編計画策定事業費

1,097万3千円

- 人口減少に伴う児童生徒数の減少がもたらす小中学校の小規模化及び学校施設等の老朽化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、多度地区を除く（仮称）桑名市立小中学校再編計画の策定を行う。

“桑名市版”保育現場充実パッケージの推進

1. 保育士等の人材確保に向けた支援策

保育士等人材確保推進事業費 令和6当初予算額 6,456万5千円

2. 現場で働く保育士等の就労継続を応援する支援策

保育士等就労継続応援事業費 令和6当初予算額 1,500万円

3. 配置基準の緩和や労働環境改善に向けた市独自の人件費補助

手厚い保育士配置応援事業費 令和6当初予算額 7,000万円

4. 園でのおむつ回収とサブスクの推進に向けた支援策

おむつの回収とサブスクリプション導入事業費 令和6当初予算額 795万3千円

5. 全員参加型の保育環境づくり

全員参加型保育環境づくり事業費 令和6当初予算額 636万5千円

6. 保育の質の確保に向けた評価システムの推進

第三者評価促進事業費 令和6当初予算額 285万円

予算総額

1億6,673万3千円

保育士等人材確保推進事業費

令和6年度当初予算額

6,456万5千円

- ① 《継続》 修学資金貸付
- ② 《新規》 住宅等就職応援一時金支給
- ③ 《新規》 保育士等紹介キャンペーンの実施
- ④ 《新規》 保育現場等PR事業
- ⑤ 《新規》 民間事業者との連携協定事業

保育士等人材確保推進事業費



① 《継続》 修学資金貸付

保育士等を目指す方に、市内の就学前施設従事を要件に保育士等養成施設の修学資金の貸付を行う。

桑名市保育士等修学資金貸付制度

対象者	<ul style="list-style-type: none">○養成施設等において修学する者○養成施設等を卒業後、市内の認可保育所等において保育士等として勤務する意思がある者○保育士等の養成を目的とする他の貸付等を受けていない者
内容	<p>金額:月額5万5千円 ※1人につき132万円を限度とします 期間:2年間を限度とし、養成施設等に在学する期間 利子:無利子 ※定められた期日までに返還しない場合、延滞利子の支払い義務発生</p>
時期	募集時期は毎月末頃×切予定

保育士等人材確保推進事業費

② 《新規》住宅等就職応援一時金支給

保育所等に就職する新規保育士及び潜在保育士等を対象に、就職や転入のための準備に必要な費用を補助することにより、保育士等の確保を図る。

(上限：市内10万円、転入25万円)

【就職準備金（市内居住者）】

(対象者) 新たに桑名市内の認可保育園（私立）等で勤務をされる方

(支給額) 10万円

※三重県社会福祉協議会の「保育士就職支援準備金貸付制度」を利用しているもOK

【就職準備金（市外居住者）】

(対象者) 市外に住んでいて、市内の保育所等に就職することで市内へ転居される方

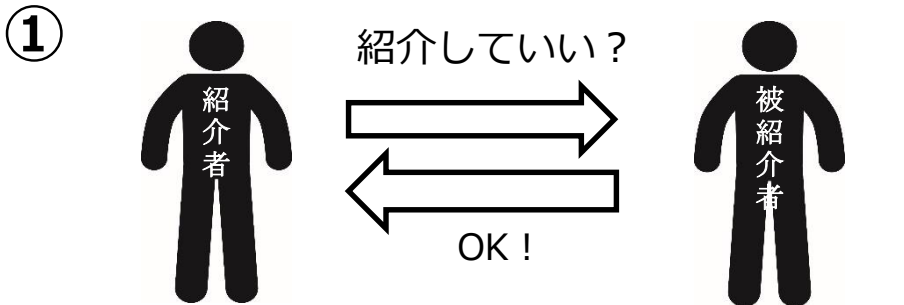
(支給額) 25万円

※採用日の前1ヶ月の属する月の初日から勤務開始後3か月が属する月の月末までに転入された方

保育士等人材確保推進事業費

③ 《新規》保育士等紹介キャンペーンの実施

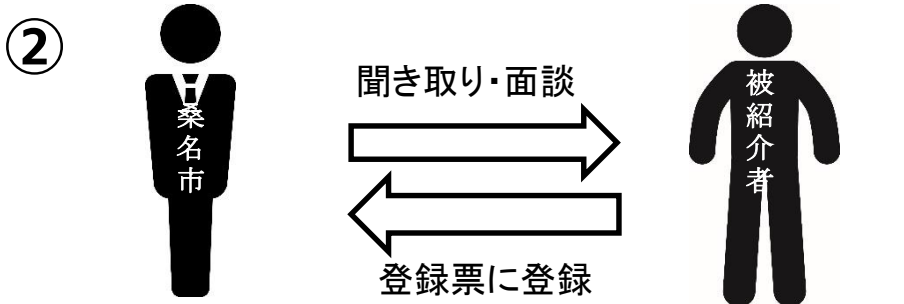
保育士資格を持っている方等を対象に、知人や親族等からの紹介を受けて、桑名市の保育士登録票等に登録すると、紹介者、登録者双方にキャッシュバックがもらえるキャンペーンを実施。また、私立保育園等において保育士等の求人希望がある場合、登録した保育士等の希望に沿ってマッチングさせる。



紹介したい方がいたら、被紹介者に必要事項を確認して、市に紹介する。



希望の就労条件に合う保育園や幼稚園、認定こども園を市でマッチングし、お互い納得したら就職となります。



市から被紹介者に聞き取りを行い市の保育士登録票に登録する。登録が完了したら、紹介者と被紹介者にそれぞれ3,000円贈呈。



被紹介者が本事業の就労条件で半年以上就労したら、紹介者と被紹介者にそれぞれ10,000円贈呈。

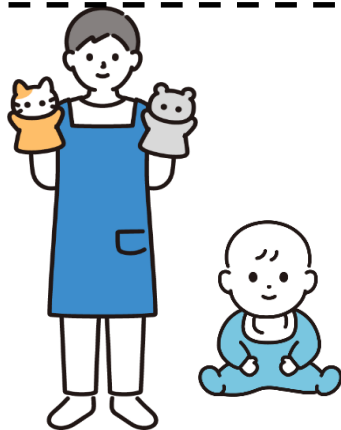
保育士等人材確保推進事業費

④ 《新規》 保育現場等PR事業

修学資金貸付の内容や保育の仕事をわかりやすくPRするため、パンフレット等を作成し、高校生等に対し保育士の魅力を発信する。また、SNSを活用し、公立、私立の保育現場の様子を広くPRする。

⑤ 《新規》 民間事業者との連携協定事業

“桑名市版” 保育現場充実パッケージ等について、県内外において広く周知を図るため、日本最大級の保育士専門就職転職サービス「保育士バンク！」を運営する株式会社ネクストビートとの間で連携・協力に関する協定の締結し、情報発信を行っていく。



手厚い保育士配置応援事業費

令和6年度当初予算額 7,000万円

市内の就学前施設の保育士配置基準緩和や保育士のノンコンタクトタイムや休暇取得の促進を図るため、手厚い配置をするために保育士を採用した園に対して、その人件費の補助を行うことにより、就学前施設全体の保育環境の改善を図る。

【補助内容】

保育士の人件費を、1園につき上限400万円まで補助

常勤保育士 400万円×15園=6,000万円

非常勤保育士 200万円× 5園=1,000万円

【実施時期】

令和6年4月～ 事業開始



“桑名市版”保育現場充実パッケージの推進



本物力こそ桑名力

2. 保育士等就労継続応援事業費

1,500万円

- 離職防止及び働く保育士等を応援する為、3年目、5年目、7年目、10年目、15年目など節目に奨励金を支給する。

4. おむつの回収とサブスクリプション導入事業費

795万3千円

- 使用済みオムツの保育所（園）等での回収に対して補助する。また、公立保育所でオムツのサブスクリプションを導入する。

5. 全員参加型保育環境づくり事業費

636万5千円

- 保育士等の研修機会確保と交流促進を進め、民間事業者と連携した巡回相談・発達支援、またテーマごとの意見交換会実施や保育士等専用ダイヤルの設置を行う。

6. 第三者評価促進事業費

285万円

- 保育の質を確保するため、第三者の評価システムを取り入れた保育園等に対して、国の補助を超えた金額を市独自で上乘せする。